

「HIU 保護者ミーティング」で成果を発揮 学生司会講座開催



臨床心理学科4年次
近藤 志保さん

5月13日(金)、20日(金)、27日(金)に東広島キャンパスにおいて、学生司会講座を開催しました。

東広島キャンパス9名、呉キャンパス5名、広島キャンパス6名の学生が参加し、コミュニケーション心理学科の久次弘子教授のご指導のもと、司会としての立ち振る舞い、目線、表情、心構えについての講義や発声練習を行いました。

また、HIU保護者ミーティングでの司会を想定した司会練習では、参加者が司会原稿と自己紹介文をもとに読み方の練習を行い、発声の抑揚や表現方法を学びました。

5月29日(日)から始まったHIU保護者ミーティングでは、東広島・呉・広島キャンパスを皮切りに10箇所の地方会場において16名の学生が司会を務め、保護者のみなさんからも大変高評でした。

学生司会講座は毎年実施していますので、興味のある方や人前で話す技術を身に付けたい方は、右記担当窓口までお越しください。



臨床心理学科4年次
吉田 愛純さん

担当窓口

[東広島キャンパス]
学生課(2号館2階)
[呉キャンパス]
呉学生課(1号館1階)
[広島キャンパス]
医療経営学部事務室(1階)

広島刑務所から感謝状～入所する透析患者に人工透析を実施～

7月28日(木)、広島刑務所(広島市中区)から広島国際大学に感謝状が授与されました。

これは、本学の臨床工学技士の資格を持った教員と大学院生が10年以上にわたり、広島刑務所で透析が必要な受刑者に人工透析を処す活動を行ってきたことに対して贈られたものです。



授与された感謝状



本学学長室にて。金本所長(右)、焼廣学長(左)

取り組みが始まったのは2003年4月。当時、保健医療学部長だった前学長の秋山實利学園顧問・名誉教授が、刑務所内での透析患者の増加と医療従事者不足について、同所医務部長から相談を受け、大学院生を紹介したのがきっかけでした。以来、医療技術学科の教員と医療工学専攻の大学院生がバトンを受け継いできました。今も週に1回、広島刑務所に出向き、受刑者に人工透析を行っています。



ささやかなお菓子と
コーヒーを囲んで
笑顔も混じり
終始和やかムード

突撃★学生広報スタッフ!!

学生の声を学長が聴く 学長カフェ開催



西原 雄大さん
(リハビリテーション文芸学科4年次)

7月7日(木)、2号館8階カフェで、焼廣益秀学長就任後初めての学長カフェに参加してきました。

この取り組みは、焼廣学長が学生の要望を聴き、より良い大学にしていくためのものです。

学生からは、「学校でもっと勉強したいので、広島キャンパス行き無料バスの最終便の時間を遅く延ばしてほしい」「生活用品などを売っている店が、寮から近いところにほしい」などの要望がありました。

参加した学生からは、「学長と普段、お話する機会がないので、間近で話せて良かったです」との声が寄せられました。

会場が広く開放的で、私ものびのびと意見を述べることができ、焼廣学長のことを身近に感じられる機会でした。